

【マグロ解体ショー～マグロを活用した食育推進事業～】

11月12日、大月小中学校の児童生徒がマグロの解体ショーを見学しました。大月町では、県内で唯一クロマグロの養殖が行われており、4年生では、総合的な学習の時間で大月町の産業の探究的な学び餌やり体験をしています。当日は、大月町沖で育てられた60キロのクロマグロが用意され、高知海洋高校のツナガールがみごとに捌いて見せてくれました。その迫力に、子ども達の大歓声が上がっていました。脂の乗った新鮮な刺身に舌鼓を打ち、大満足の子ども達でした。わが町のマグロに関心が高まりました。



【人権教育参観日】

今年度も大月小・中の人権教育参観日が11月16日に開催されました。低学年と高学年で時間差の授業参観と講演2本という内容でしたが、たくさんの方においでいただきまして本当にありがとうございました！講師は、
さんで、岩手県で生まれ、宮城県仙台市で育ちの方です。縁があって令和5年4月に大月町に移住し、現在は「トランスジェンダーの子を持つ親の経験」に焦点を当て研究をしています。夏休みには、小中学校の教職員が「性の多様性・LGBTQ+」と題した講演を聴き勉強しました。子ども達には「多様性って何だろう？～一人ひとりが自分らしく生きるために～」という内容で話してもらいました。それぞれの発達段階で理解したことが、振り返りの感想から分かります。



子どもの感想より

・今日、こうえん会がありました。さんが女の子で生まれてきたことを知って、さいしょはびっくりしました。そのことをさんは19才まで、友だちに言えなくてしんどい思いをしました。つらかったと思います。さんがむねの手術をされていて、びっくりしました。男の子がスカートをはいたり、リボンをつけたりしてもいいです。女の子がサッカーをしてもOKです。わたしは、男の子の体で、女の子の心でいいし、女の子の体で、男の子の心でもいいと思いました。それは、一人ひとりが自分らしく生きていけたらいいと思ったからです。
(3年)

・11月16日は、人権参観日で講演会がありました。さんが、性別のことを話してくれました。これは女の子だからというのは決まっていないから、一人ひとりが自分らしくしたらいいと、言っていました。男の子や女の子と、トランスジェンダーというせいべつがあることも教えてくれました。男の子がスカートをはいたり、リボンをつけたりしてもいいし、女の子がサッカーをしたり、かみを短くしたりしてもいいと言っていました。女の子でも男の子でもいい。一人ひとりが自分らしく自分を大切にしてほしいと話してくれました。わたしは、その考えがすてきだなと思いました。それを、わたしも見習おうと思いました。さんの話をまた聞きたいです。
(3年)

・今日は、LGBTQについて知れてよかったです。自分の当たり前と、相手の当たり前がちがうので、そこを指摘しすぎないようにしていきたいです。これからは、見かけや性格を最初だけで判断しないようにしたいと思います。
(5年)

・今日、講演を聴いて私は、LGBTQのことを初めて知って、女性でも心は男、男性でも心は女という人でも差別せずに生きていきたいです。そんな人に出会っても「自分の意志をちゃんと持ってね。」と伝えたいです。身近にいても遠くにいても、自分の意志を大事にしてほしいなと思いました。私はこれから、そんな人があるんだということを知っておき、いつでも頼ってもらえるような人になりたいし、声かけなどをして、助ける人になりたいなと思います。

(5年)

【第1回 大月小学校 校内たし算・ひき算・九九大会】

学力向上と学習意欲向上と九九の定着を目的とした、大月小九九大会を実施しました。1・2年生は、たし算・引き算の81問です。九九大会のルールは、①制限時間は3分、教頭先生の合図で始める。②終わった児童は手を挙げて前の時計を見て時間を記入する。③時間を記入した後はプリントを伏せる。④3分後に担任がプリントを回収する。上位3名を表彰する。条件は、①3分以内に解き終わっている。②81問全問正解している。というものです。全問正解者は38名でした。その中からタイムの速い児童上位3名を表彰しました。1年生と5年生が1位に輝きました。素晴らしいですね。今、2年生が一生懸命に九九を覚えています。第2回目からは、2年生九九に挑戦します。静まり返った体育館にサササと響く鉛筆の音、大月っ子の集中力は素晴らしかったです。

九九の部（3・4・5・6年生）

順位	学年	氏名	時間
1	5		1分02秒
2	5		1分07秒
3	6		1分17秒

※同タイムの場合はビデオ判定で
手を挙げるのが速かった児童の
順位が上になります。

たし算・ひき算の部（1・2年生）

順位	学年	氏名	時間
1	1		2分08秒
2	2		2分17秒
3	2		2分27秒

※九九の部の全員正解者は、32名でした。
たし算・引き算の部は、6名でした。
練習を重ねて、第2回は更に全問正解者が
増えることを期待しています。

【大月っ子が大活躍!!】

大月小学校の子ども達は、学校行事以外でもいろんな参加要請があります。11月16日（土）には、里海カンファレンスで6年生が全国から集まった120名余りの前で、「大月の自然は大月町の宝物」というプレゼンテーションをしました。発表内容も態度も大変立派で素晴らしかったです。また、11月19日（火）には、福祉大会で1・2年生が「ありがとうの歌（手話付き）」と「怪獣の花唄（ダンス）」を披露しました。会場の方々の手拍子を受けて、のりのりで踊った子ども達でした。ありがとうございました。



里海カンファレンス（6年生）



社会福祉大会（1・2年生）